

カトリック八尾教会ニュース



2023年11月

Tháng mười một

【今月の予定】

ミサの時間

1日(水・祭) 諸聖人	-----
2日(木) 死者の日	-----
5日(日) 年間第31主日	7:00
	10:00
12日(日) 年間第32主日	7:00
	10:00
19日(日) 年間第33主日	7:00
↳ 貧しい人のための世界祈願日	10:00
ベトナム語のミサ	15:00
25日(土) 子ども会	14:00
	16:00
26日(日・祭) 王であるキリスト	7:00
↳ 世界青年の日	10:00
平日のミサ	木曜日: 10時
	16日、30日

< 合同追悼式 >



< フリーマーケット: ミサ後 >

* 『聖書週間: 19日~26日まで』 *

初聖体の勉強会
聖書の集い



子どもとともにささげるミサ(子どもの祝福式)

< お休み: 2日、9日、23日 >

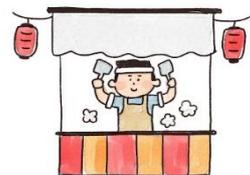
【お知らせ】

◎合同追悼式・・・11月5日(日)10時のミサで合同追悼式を行いますので合同追悼者名簿を所定の箱へお入れください。献金は任意とし、直接箱にお入れ下さい。(典礼委員会)

◎売店より・・・来年度のカトリックカレンダーや手帳などの申込みを付けています。

◎フリーマーケット(ミニバザー)開催 12日(日)ミサ後～13時頃

一階ホール及び駐車場にて焼きそば、パン屋さん、うどん、野菜の販売、手作り品コーナー、リサイクル品・・・他、出店があります。ぜひ、ご参加ください!! ※当日、車のご利用はできるだけ、お控えください。



◎カトリック大阪高松大司教区新サイトオープン(10/6～)最新情報は新サイトよりご覧ください。

【からし種】死者の日(11月2日)

諸聖人の祭日(11月1日)の翌日にすべての死者を記念する習慣は、998年にクリュニー修道院のオーディロンによって始められ、クリュニーの修道士たちの影響によって11世紀には広く行われるようになりました。ローマ教会には1311年の暦に初めて記されていますが、それ以前からローマでも死者の日の記念が行われていたと思われます。『毎日の読書』よりわたしたちは生者と死者を問わず万人との連帯関係にあり、その連帯関係は聖徒の交わりを土台としています。「聖徒の交わり」とは、「聖なるものの分かち合い」と「聖なる人々の交わり」という意味を持ち、聖徒たちの交わりが、まさに教会なのです。すべての罪はこの交わりを損なうものです。

教会はキリスト教の初期の時代から、死者の記念を深い敬愛の心をもって尊び、死者のための祈願をもささげてきました。死者のためのわたしたちの祈りは、死者を助けるだけでなく、死者がわたしたちのために執り成すのを有効にすることができるのです。(カトリック中央協議会 H.P より)

大阪高松大司教区の兄弟姉妹の皆様

新設される大阪高松大司教区の司教にトマス・アクィナス前田万葉枢機卿が就任されると重要な機会に際し、皆様お一人おひとりが私の祈りの中におられることをお約束したいと思います。私の願いは、大阪大司教区と高松教区が一つになることが、魂の救いのために豊かな霊的恩恵をもたらし、力を合わせることで力強い相乗効果を生み出すことです。

大阪大司教区の教会と高松教区の教会は、司牧活動や人的交流など、さまざまな面で長年にわたって協力してきたことは事実ですが、両者の間に相違点があることも当然です。しかし、その違いは、多様な豊かさをもって、新しく設立された私たちの教会の活力を高めることになると信じています。

この一致への旅路において、私は、新大司教区の保護者であるロザリオの聖母を、皆さんの模範として提案します。彼女は謙虚に大天使ガブリエルの言葉に耳を傾け、自分の人生に対する神の神聖な計画を受け入れました。彼女は揺るぎない信仰をもって、御子の十字架刑を忍耐強く耐え忍びました。聖霊降臨のとき、彼女は使徒たちとともに祈り、彼らとともに聖霊を受けました。このように、彼女の生涯は、主の真の弟子となるための3つの重要な鍵を私たちに与えてくれています。耳を傾けること、試練に耐えること、真摯に祈ることです。これらはまた、真にシノドス的な教会を構成する不可欠な要素でもあります。

私たちが互いに敬意を持って耳を傾ける時、キリストの神秘体の中で、各メンバーに与えられた聖霊の声を聞くことができます。私たちが信仰をもって予期せぬ試練に立ち向かうとき、神は約束された復活の栄光に向けて私たちを準備して下さるのです。さらに、真剣に祈るとき、私たちは聖霊からの賜物によって力を与えられます。聖母に倣い、聖なるロザリオを熱心に祈るなら、地上の巡礼の旅は揺るぎなく天国へと導かれることでしょう。

最後に、私は、聖母マリアがつねにあなたがたをその保護のもとにお守りくださり、日本の聖なる殉教者たちがあなたがたのために執り成して下さるよう願います。皆様の一人ひとりの上に神様の特別な祝福が与えられるよう、真心から祈ります。

キリストのうち

(カトリック大阪高松教区H.Pより)

小教区評議会がありました 10/1 (日)11:30~13:30

【報告事項】

- ・(社会活動委員会)：8月の平和旬間のつどいへの参加、協力に感謝。
- ・(子ども会)：初聖体勉強会10、11月の日程を一部変更したが子ども達は頑張っています。子どもの祝福式を11/26(日)に子どものミサで行う予定。
- ・(行事委員会)：今日でミニバザー受付を終了。飲食店、物品販売店などの申込が8件ほどあり、内容は再度、精査する。
- ・(財務委員会)：教区規定による会計監査が10/22予定。・インボイス制度が始まり、教会関係の備品や消耗品の購入に関しては、領収書が必要。
- ・(総務委員会)：コピー機のリース契約更新日がきているが、現在九年目となり、物品が老朽化してきているがどうするか？➡新機種に替えると年間リース料が多額(現機種約¥15,800/年➡新機種約¥250,000/年)になるため、現機種を更新する。・エレベーターの点検が先月あり、異常はなかったがおおめじきそぶぶんあまみずた、今後も大雨時は経過観察が必要。
- ・(宣教司牧委員会)：9月に敬老の祝福式が行われた。対象者(75歳以上)62名には案内と記念品(祈りの冊子200円/人)を送付。

みなみちくせんきょうひょうぎかい ひょうぎかいほうこく
・(南地区宣教評議会) <9/24の評議会報告>

しほくしゃ ほつそく おおさかたかまつきょうく けつてい つうち
・司牧者からの報告①10/9発足される大阪高松教区についてバチカンより決定の通知があり、
しんきょうく ほつそく ちゃくざしき じ せい だいせいどう おこな
新教区として発足。着座式が14時より、カテドラル聖マリア大聖堂で行われる。②ワールド
ドユースデイ(リスボン)が無事に行われ、日本より参加者が80名(内、大阪8名)+スタッフ
めい+しゅうどうかい じかい ねんせいねん かいさい ねんかんこく かいさいよてい せいしょうねん
22名+修道会。次回は2025年聖年ローマ開催、2027年韓国ソウル開催予定。③青少年
れんせいかい ほうこく
練成会の報告④インターナショナルデー：10/15(日)11:00~カテドラル聖マリア大聖堂

いいんかいほうこく しゃかいかつどういいんかい じんおやこ にん こんごうきょうかい ざいりゅうきよかしよめいかつどうほうこく にほん
・委員会報告—社会活動委員会よりペルー人親子3人(金剛教会)在留許可署名活動報告(日本
う
で生まれても、18歳以上は在留が難しい現状。)

ざいむいいん かいけい かいけいかんさ かまがさきしえん さんかげつぶん まんえん ふりこ
・財務委員(会計)より、会計監査について。釜ヶ崎支援について。三ヶ月分(12万円)を振込む。
しえんきんきょしゅつ かん ぶんしょうか けんどう へいわじゆんかん かききょうかい ほうこく
支援金拠出に関して文章化を検討。平和旬間について各教会より報告。

た せいねんかい ほつそく せいねん ちゅうしん きょうかいぎょうじ さんか こ かいぎょうじ きょうりよく
・(その他)・青年会の発足—ベトナムの青年を中心に教会行事に参加。(子ども会行事に協力。
じしやようせい きょうりよく だいひょうしゃ
侍者養成の協力など。代表者：グエン・バン・ハオさん、レ・バ・ビンさん)

きょうぎじこう 【協議事項】

こんご 1.) 今後のミサについて

ほんじつ せいどう さいぜんれつだい てんどうぼうしばん てんどうじこ たいさく こうれいしやきゅう
・本日、聖堂の最前列の転倒防止版につまずき転倒事故があった。その対策について一高齢者及
ほこうこんなん かつ せいどうぜんれつ せきりょう よ きんきゅうしよち
び歩行困難な方には聖堂前列のグリーン席を利用してもらうよう呼びかける。また、緊急処置
さいぜんれつだい あしもと ながいす お あしもと ちゅうい
として最前列台の足元に長椅子を置き、足元に注意してもらう。

しきしだいおよ きよく かいていばん さくせい がつ きよく しよう
・ミサ式次第及びミサ曲プリントの改訂版の作成—6月よりミサ曲プリントを使用しているが、
しきしだい しとしんじょう さっし ふくすうきつ かいていばん てんれいいんかい さくせい
式次第や使徒信条の冊子など複数冊になり、まとめた改訂版を典礼委員会で作成する。(→ベトナム
ご かんこくご おうしょう きさい
ム語や韓国語の応唱も記載してはどうか。)

2.) インターナショナルデーについて

さいしさい きゅう しゅつせき や おきょうかい にほんご
・崔司祭が急きよ、インターナショナルデーに出席するため、八尾教会の日本語ミサができない
いぜん
いので、以前のようにできるだけインターナショナルデーミサに参加し、また、ブロック(枚岡
きょうかい じ ふ せききょうかい じ ご や おきょうかい じ さんか
教会：9時、布施教会：11時)のミサやベトナム語のミサ(八尾教会：15時)に参加してもら
う。→ お知らせと地区連絡網で連絡する。

3.) ミニバザーについて(行事委員会)

ほんじつ しゅってんきぼう うけつけ しめき げんじてん じょうきょう おお へんか かいさいよてい
・本日、出店希望の受付を締切る。現時点では、コロナ状況も大きな変化なく、開催予定。
しやうさい かいさいいっしゅうかんまえ しゅってんだいひょうしゃ さいしゅううちあわ おこな
詳細については、開催一週間前(11/5)に出店代表者と最終打合せを行う。

こんかい きょうかいしゅさい かくしゅってんしゃ ばしよ ていきょう うりあ
・今回は教会主催のバザーではなく、各出店者に場所を提供するフリーマーケットとし、売上
ずいけんきん う と ただ しゅうし ほうこく ぎょうじいんかい はあく
げより、随意献金を受け取ることとする。(但し、収支の報告を行事委員会が把握する。)

4.) クリスマス、新年ミサについて

しんねん
・12/24(日)は午前中は主日のミサを7時と10時に、主の降誕(夜半)ミサを17時に行う。

しゅ こうたん につちゅう じ
12/25(月)は主の降誕(日中)のミサを10時に行う。

しんねん じ おこな
・新年ミサ(1/1)は10時に行う。

5.) 新成人の祝福式について

ことし や おし せいじんしき さ じ おこな や おし どうよう はたち しゅくふく
・今年も八尾市の成人式を避けて、1/14(日)の10時のミサで行う。八尾市同様、二十歳の祝福
しき
式とする。 以上

この前、実に久しぶりに実家帰りした時、すっかり小さくなった母さんの様子は、かなりのショックだった。実家を離れたのが、恐らく、2008年冬だったので、15年も行ってなかったことになるから、その間、80歳を超えていった母さんが普通の老婆になっていることは、頭では分かっていたけど、実際に目の当たりにした時は、正直、すごく悲しかった。若い頃の母さんって、肌も綺麗で美人だったことをよく覚えている。しかし、長い年月が過ぎ去ったにせよ、母さんの老けぶりは、まるで別人のようだった。それに、実家はあちこちが傷んでいて、とりわけ、お手洗いは経年劣化による汚れや色褪せが酷く呆気に捕られるほどだった。父が亡くなって以来、家の管理が行き届いてないわけだろうが、住んでいる人にとっては、ごく自然な変化であって、そこから、衝撃や悲しさを感じるわけはなかったと思うが、私は、今の実家の様子を違う意味で感じたのだ。生まれてからずっと実家で住んでいる兄は兄で、彼は彼なりの悩みがあり、また、実家の環境に慣れきっている兄にとって、毎日使っているお手洗いの廃れなんかは大したものじゃないだろうと思うが、部外者のような私には、いろいろと考えさせられたんだ。夏のボーナスをもらったら、送金してあげると咄嗟に約束したのも、あまりの悲惨ささえ感じていたからなんだ。それが今年の5月のことで、帰阪してから最近まで、どのように送金すべきか結構悩んでいた。ネットバンキングの昨今、阿保みたのだが、暗証番号も忘れてるし、本人確認や残高証明などの、かなり面倒な手続きのことを考えているうちに、もうこの季節になっちゃっている。その末、諦めたんだ。お手洗いの修繕費として、送金することをね。僅か半日くらいの苦勞になるだろう、たかが銀行行きを止めたわけだ。お金は、母さんの葬儀の時に兄に渡そうと思っている。

何故、こんなに親不孝なことが平気で言えるんだろう、私は？ 福音書のみ言葉を引っ張ってこなくても、そもそも、私ってこんな人間なんだとしみじみ感じている。無情とよく言うんだけど、それで説明しきれないところの方がもっと大きい気がするの。一途という方だろう。

司祭になろうと決めて以来、いや、より正確には、神様から呼ばれていると感づいて以来、私は後ろを振り向いたことはなかった。病気に罹った時も、修道会から退会させられた時や母国を離れる時も。自分というものを成していた大事なものと、立て続けに分かれることは決して簡単なことではなかったはずだが、不思議にも、さらっという感じでできてきたのだ。

それを、私はお恵みと受け止めている、神様からのね。

ねえ、母さん、あなたと一緒に撮った写真って、本当数少ないが、中学校入学式の時の写真を今もはっきり覚えている、傍に立っていた母さんの温もりも。

それじゃ、元気でね、母さん。元気にしてるよ、私は、ここで。

母さん、あなたの息子に生まれてよかったよ。

育ててくれてありがとう。

そして、さよなら。

